

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:平成 31年 3月 11日

事業所名:子ども発達支援センターこぶし園

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0	6	0	自由時間などは各々好きな活動ができるよう、マット等でエリアを作っていくつかの活動をセッティングしている。遊びごとにエリア分けしている。	建築設置基準に基づき作られているが、子どもさんの活動を十分に把握できる広いスペースを確保していきたい。また、個室の活用のため職員増を考慮した職員配置を工夫していきたい。
	2 職員の配置数は適切である	0	6	0	役割の確認を行っている。子どもは触れにくく職員は確認しやすい所にプログラムや記録用紙など貼り、記録、確認などを行っている。 ・研修等で職員が抜ける時には多機能なので、児童発達の職員などにもヘルプしてもらっている	人員配置の基準は満たしているが、排泄介助、問題行動の対処などで手が取られることや送迎では、下校時間が一定でないことが多々あり、苦勞することがあるので配置職員の増に取り組み業務の割り振りを徹底したい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	1	手すり、エレベータを設置してある。	平成26年に建設した当時バリアフリーに留意した。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0	ヒヤリハット、ヒヤリハットにつながる事例など職員間で共有し業務の改善に努めている。	毎月の会議の中で検討していく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	会議で話し合い、みんなで善後策を検討。	保護者会などを通し、意見交換していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	1	一昨年前から公開している。	今後も公開していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	1	現在は、第三者評価を行っていない	法人全体で今後検討したい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	県主催の研修には必ず一人以上参加し、伝達講習を行っている。総合支援協議会や外部団体開催の研修会等への参加や発表している。自閉症eサービスなど発達障害に特化した講習・研修会に参加している。	今後も継続して参加していく。
適切な	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	半年ごとに、保護者の方と面談し状況など確認している。計画案を作成し、面談時それをもとに計画に反映して、返している。	法人で自閉症eサービスの評価キット(検査道具)を購入したので、有効に活用し結果を保護者の方と共有し支援にいかしていきたい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	4	0		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0	前月に立て、おたよりでご家族にお知らせしている。	引き続き、今後も職員間で活動プログラムの立案をすり合わせていく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	0	・季節ごとの制作など工夫しているが、リズム遊びなどは固定化している。子どもたちが入りやすい活動は意識的に固定化している。	引き続き状況に応じた活動プログラムを工夫していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	0	長期休暇のプログラムは1か月以上前から検討。外部のイベントなど子どもたちにとって有効なものは参加している。他の事業所と協力を頂いて合同でのプログラムを織り込むこともある。	職員間で話し合い質の向上に努めていく。

は 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	すでに行っている。	今後も子どもさんの状況に応じた計画を作成していきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	0	毎日の朝礼や必要に応じて行っている。	今後もこまめに打合せを行い十分な支援を行っていききたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	0	時差出勤のため当日はできないが、翌日朝礼で確認し、共有している。時間をかけて検討していかなければいけないことは別途時間を設けて行っている。	今後もこまめに打合せを行い十分な支援を行っていききたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	記録用紙も試行錯誤し、個別支援計画に挙げた項目を明記しそれに合った記録や随時必要なことは記載している。特記すべき事項などは下線を引いたり色を変え記入している。	今後も、随時記録用紙の見直しなど行っていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	0	現在行っている。	今後も継続して行っていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	3	1	職員間で読み合わせをしてそれに基づいて支援を行うように努めている。	今後もガイドラインの基本活動に基づいて支援を行うように努めていく。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	最適のスタッフが出席するようにしている。	今後も随時行っていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	0	年間計画・行事予定表等は保護者をお願いしている。地域の学校からは毎月予定表が届いている。	今後も継続して行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	3	医療的ケア児を受け入れていない。	医療的ケア児を受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	0	極力行っている。	今後も随時行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	0	2	こぶし園設立後、3人卒業して全員に移行支援会議を行った。	今後も引き続き行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	0	他のセンター専門機関と連携して研修受けるようにしている。また、こぶし園で外部向けの講演会を開催している。	今後も継続して行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	0	できていない。	保護者の中にはニーズがない方もいるので今後どうしていくか課題。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3	1	参加している(児童部会はまとめ役をしている)	今後も参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	お迎えの際に日々の状況を伝えている。連絡帳も活用している。	今後も随時行っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	1	個別の面談は行っているが、ペアレント・プログラムは行えていない。	今年度、ペアレント・プログラムの研修を受けた職員がいるので活用したい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0	面談時行っている。	今後も継続して行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	随時行っていて職員間で情報共有をしている。	今後も継続して行っていく。

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	0	保護者会を開催している。	今後は保護者交流の場(お茶会等)を増やす予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	苦情処理委員会を設けている。あった場合は職員間で共有している。担当の相談支援専門員にも伝えている。	今後も随時行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	毎月お便り、年2回法人の広報誌を配布している。	今後も継続して行っていく。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	個人情報を外部に漏らさぬよう注意している。	自分たちでは気をつけていたが、保護者からの苦情があったので今後は徹底して気をつけていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	個々に応じたコミュニケーションツールを提案・実施している。	今後も継続して行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	1	総会時に並行してそば会や外部向け講演会を実施している。	次年度からは収穫祭も計画している。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	0	職員には周知している。
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	毎月、色々な災害を想定して実施している。	保護者にはお便りや掲示板でお知らせしていたつもりだったが、完全に周知できていなかったため今後検討していく。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	県主催の虐待防止・権利擁護研修に参加している。	今後も継続して参加する。法人として虐待防止委員会を設置する。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	3	0	身体拘束は行っていない。	今後は身体拘束のマニュアルを作成し、職員間で徹底していく。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	1	親からの聞き取りを书面化し、共通理解している。	引き続き行っていく。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	1	簡単な記録をとって共有している。	記録と共有はできているが、掘り下げて再発防止に取り組んでいく。